

アマダ、ブランク加工機新商品の正式受注を開始

「AMNC 4ie」搭載により誰でもより簡単に、どこでも効率よく使える環境にやさしいマシンへと進化



VENTIS-AJe シリーズ



ACIES-AJe シリーズ



EM- MII e シリーズ

株式会社アマダ（神奈川県伊勢原市、代表取締役社長執行役員：山梨 貴昭）は、新施設「AMADA GLOBAL INNOVATION CENTER（AGIC）」で発表したブランク加工機新商品の正式受注を5月10日より一斉に開始します。

正式受注を開始するブランク加工機は、新 NC 装置「AMNC 4ie」を搭載したファイバーレーザーマシン、パンチ・レーザー複合マシン、パンチングマシンの各シリーズです。Easy（誰でもより簡単に）、Efficiency（どこでも効率よく）、Environmental（環境にやさしい）、Evolution（お客さまとともに発展する）の4つの“E”をコンセプトに、誰でも・どこでも使える環境にやさしいマシンへと進化しています。

また、今回新たに6kWのファイバーレーザーシングルモジュール発振器を開発し、「REGIUS-AJe シリーズ」「VENTIS-AJe シリーズ」「ENSIS-AJe シリーズ」に搭載しました。1つのモジュールで6kWファイバーレーザーの出力を作り出すことで、レーザー光の品質が大きく向上。軟鋼中厚板に加え、ステンレス板、アルミ板においても高速かつ高品位な切断加工を実現します。

さらに、ファイバーレーザーマシンで好評を得ている最先端の支援技術「レーザー・インテグレーションシステム（以下、LIS）」をパンチ・レーザー複合マシンラインナップの「ACIES-AJe シリーズ」「EML-AJe シリーズ」「LCC1-AJe シリーズ」に搭載しました。各種監視、検知、診断を行うことで、マシンの状態を最適に保ち、工数がかかる始業前点検の自動化や、加工不良による自動復旧・ダウンタイムゼロを目指します。これにより、生産性が大幅に向上し、作業練度によるバラツキの低減による究極の安定加工を実現します。

現在、板金加工機械業界では人手不足が深刻化しており、技術者の高齢化や若者への技能継承に関する問題に直面しています。さらに、カーボンニュートラルへの取り組みは急務であり、お客さまを取り巻く環境は課題が山積しています。

アマダは、お客さまのこれらの課題を最新商品群のマシンとテクノロジーにより解決し、生産革新の提案をいたします。これにより、お客さまとこれからのモノづくりを探求し、イノベーションを創造してまいります。